

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	神戸市東部療育センターひまわり学園		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日		2025年11月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年10月31日		2025年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等や個々の状況を丁寧に捉え、一人ひとりに応じたきめ細やかな専門性のある支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な個別懇談、家庭訪問や保護者との面談などにより、こどもの特性等や課題、保護者の願いなどを丁寧に聞き取り、児童発達支援計画に反映させ、日々の支援につなげている。 長年の経験を活かした保育士等の専門性に加え、言語聴覚士や作業療法士、理学療法士などの多職種による連携のもと、こどもの一人ひとりの特性等に合った支援ができるよう取り組んでいる。 	定期的な支援の振り返りやアセスメントを通して、保護者との情報共有をさらに丁寧に行い、家庭と連携した支援を充実させるとともに、療法士等の多職種との連携を深め、専門性に基づいた支援の向上に取り組んでいく。
2	療育支援に適した充実した設備・環境	<ul style="list-style-type: none"> こどもたちが身体を十分に動かしながら遊べるよう、自由遊びは園庭に行っている。 保育室や遊戯室、スヌーズレン室などさまざまな部屋が複数配置されているため、活動内容に適した空間を選択し、集中しやすい、安心して活動できる空間づくりを行っている。 	引き続き、充実した設備・環境を活かした活動プログラムを実施し、よりよい療育支援が提供できるよう取り組んでいく。 また、当園だけでなく、地域の事業所等にも活用してもらえないか、検討していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 保育所との交流は肢体不自由クラスのみであり、知的発達クラスにおいては交流の機会がない。 幼稚園交流においても今年度は参加希望者がおらず、実施しなかった。 	こどもたちの特性や状況を考慮しながら、まずはこれまで交流のあった保育所や近隣施設との交流を検討していく。
2	保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントなどが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の機会は設けているものの、行事に付随したものであるため、保護者のみでの活動は実施できていない。 一部クラスでは、きょうだいが療育参加できる機会を設けているが、別のクラスでは、保護者と利用児童との関りに重きを置いているため、きょうだい参加ができない場合もある。 	今後は、保護者のニーズを把握したうえで、保護者同士の交流の機会やきょうだい参加の機会の提供を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	神戸市東部療育センターひまわり学園		公表日				2026年 3月 18日	
			利用児童数				35	
							回収数	
							31	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	1			・子供が大きい子ばかりになるとせまいかも。	適切なスペースを確保するよう工夫し、安全に活動できるよう努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	3			・手厚いです。 ・人数が多い時はもう少し多ければと思ったこともあります。 ・非常に忙しいのだろうと感じるので、心穏やかに働ける体制であればいいと思う。	国の基準に加え、必要に応じて神戸市独自の加配職員を配置していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1			・いつもきれいに整えてくださってありがとうございます。 ・いつも園内もそうですが、玄関や敷地内もとても丁寧にキレイに清掃されていてすごしやすいです！	清掃および整理整頓は毎日行っている。引き続き、清掃および整理整頓に努めるとともに、こどもが活動しやすい環境整備に努める。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31				・細かく聞き取り、対応していただけていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2			・定期的な目標の確認や見直しがされている。	他施設での取り組みや研修等で紹介された事例なども参考にし、随時、新たな活動プログラムを取り入れている。引き続き、こどもたちの状況に応じて、新たな活動プログラムを取り入れ、内容が固定化しないように工夫していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	5	2	5	・たまたま行けないことが多いので、もう少し機会があればと。 ・交流の機会があることは聞いています。 ・まだ実際の交流は経験してないと思うので…	一部クラスでは、近隣保育所との交流を実施した。利用者のニーズも把握しながら、実施可能な取り組みを模索し、地域のこどもと関わる機会を提供できるよう検討していく。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31						
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	1		1	・知らないだけかも。 ・もう少ししばしば参加や兄弟参加があると良いと思います。 ・本当に勉強になるイベントや機会がたくさんあり、ありがたく思います。	個別懇談や家庭訪問を実施するほか、保育参観、親子保育なども実施し、保育を通じて保護者への支援も行っている。また、保護者を対象とした勉強会や研修会も実施している。引き続き、保護者が安心してこどもと関わっていけるよう、保護者支援を行っていく。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31				・訓練の内容や家での様子などを聞いてきてくれます。 ・電話や直接お会いした時に、こまめにお話をして頂いて安心感があります。		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31				・相談しやすい環境です。		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	6	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいデーがある。 ・知らないだけかも。 ・保護者同士の交流の機会は少なめだと思います。 ・運動会できょうだいの参加できるようにしてほしい。知的クラスできょうだいデーを作してほしい。 ・先輩お母さんの話を聞くとか（ひまわりでの支援が今こうなっていると）、福祉制度についての話とか（相談支援員とか、受けられるサービスとか）、入学の時にこんな話したとか、学校入ってからの生活とか、灘支援級orさくらの事とかの研修があればうれしい。神戸市のパンフレットを見たらわかるふつう入所の話などは知らない。 ・クラス会やその他のイベントでクラスの保護者の方々ともお話ができて心強いですし共感できる話ができるのが嬉しいです。 <p>クラス会を開催し、保護者同士のつながりを持てる機会を作ったり、一部のクラスでは、きょうだいが療育に参加したりする機会を作っている。</p> <p>引き続き、利用者のニーズも把握しながら、可能な取り組みを模索し、保護者同士の交流やきょうだい向けのイベント等の機会を設けられるよう検討していく。</p>
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申し入れをしたことはないのですが、しっかりとした対応をしてくれるという信頼感があります。 ・随時対応して下さいと思います。 ・連絡帳で相談や不安なこと書かせ頂くと、すぐお電話して下さい、対応していただき本当にありがたく思います。 <p>相談や申し入れについて保護者に周知するとともに、相談等があった際には、迅速に対応し、必要な説明等を行っている。</p> <p>引き続き、迅速かつ適切に対応していく。</p>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		3	<ul style="list-style-type: none"> ・れんらくーる。 ・ホームページ、SNSありますか？ <p>連絡帳や配信ツールを用いて、行事予定表を発行（毎月）するほか、必要に応じてお知らせ文等を配布している。</p> <p>引き続き、当園の活動内容や連絡体制等について利用者に理解を深めてもらえるよう、情報発信を行っていく。</p>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28			3	<p>緊急時対応のマニュアルを作成し、職員へ周知徹底するとともに、「入園のしおり」等に必要事項を記載して保護者へお知らせしている。</p> <p>マニュアルについては随時見直しを行い、適切な対応についての周知徹底を図っている。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			2	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の通園のため訓練に参加できていない。 <p>近隣施設も活用しながら定期的に避難訓練等を実施している。近隣施設との間に直通的な避難経路を設置し、避難が可能な状況としている。また、毎月の訓練内容についてはおたよりに記載し、保護者へお知らせしている。</p> <p>引き続き、定期的に必要な訓練を実施し、目的・内容等について保護者へ周知していく。</p>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			1	<p>全職員に対して、事故や虐待防止に関する情報共有および研修を実施している。また、園外での情報においても共有を図っている。</p> <p>引き続き、全職員に対して情報共有および研修を徹底し、意識向上を図る。</p>
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなケガや変化もすぐにご連絡いただけるので安心感があります。 <p>速やかに保護者に連絡のうえ、事故等の状況を説明し、必要な対応を行っている。</p> <p>引き続き、迅速かつ適切に対応する。</p>
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・バスにも一人で乗れる様になりました。 ・いつもすぐ楽しそうに通所していて、こちらも嬉しいです。 ・慣れるまでには少しかかりましたが、今はすぐ落ち着いて通えています。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわりさんに行くよ」と声かけすると笑顔になる。 ・「ひまわりさん行くよ!」「今日は〇〇ちゃん来るかな?」「先生居るよ!」と声かけするとニコニコです。 ・とても楽しいようで、娘の笑顔をたくさんみれて親もうれしいです。 ・毎回たのしそうにしている、親としても安心感が大きいです。 ・人見知りなので。 ・いつも楽しみにしています。 ・毎朝笑顔で先生たちに会えるバスを楽しみに待っています! 	こどもたちが安心して通うことが出来る環境を整えていく。また、日々のプログラムも内容が固定化しないよう、新たなプログラムを取り入れるなど、工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31		<ul style="list-style-type: none"> ・細かな支援に本人も親も支えられています!いつも有難うございます。 ・いつも娘を楽しませてくださりありがとうございます。安心しておあずけすることができています。これからもよろしく願いいたします。 ・子供だけでなく親へのフォローやサポートも沢山していただけてありがたいです。 ・He is very happy and loves going to school his teachers take great care of him 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	神戸市東部療育センターひまわり学園		公表日		2026年 3月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		必要なスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		国の基準に加え、神戸市独自の加配職員を配置している。	職員体制を工夫し、地域支援専任職員の配置も検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		バリアフリー構造であり、視覚支援などこども達の特性に応じた環境整備を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃および整理整頓を毎日行い、こどもが活動しやすい生活空間を確保している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		空き部屋や仕切り等を活用し、必要に応じた環境を設定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員の積極的な参画を促しながら、PDCAサイクルによる業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員間で保護者等の意向を確認する機会を設け、内容に応じて会議にて検討している。	保護者等の意向を確認し、改善案を検討する機会を増やしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面談等で意見を集約し、会議等にて検討のうえ、業務改善につなげていく取り組みを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は実施していない。	今後の検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		施設内研修や外部施設での実習を実施するとともに、他団体が主催する研修へも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		こどもと保護者の状況やニーズを把握するため、丁寧にアセスメントを行い、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		こどもの支援に関わる職員で打ち合わせを行い、こどもの特性や発達段階等に応じた計画や活動プログラムを検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画の内容に基づき、目標達成に向けた支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		支援等の記録や日々の記録等を基にこどもの状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりのこどもの特性に応じた支援項目を設定し、具体的な支援内容を記載した計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		こどもの支援に関わる職員で打ち合わせを行い、こどもの特性や発達段階等に応じた活動プログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		他施設の取り組みや研修等で紹介された事例なども参考にしながら、活動プログラムが固定化しないよう努めている。	引き続き、こどもたちの状況に応じて、新たな活動プログラムを取り入れ、内容が固定化しないように工夫する。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童発達支援計画に基づき、一人ひとりのこどもの特性に応じて、必要な個別活動および集団活動を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や職員間のミーティングを通じて、日々の支援内容や職員間の役割分担、個々のこどもに対する配慮事項等についての確認を行っている。	引き続き、職員間での十分な情報共有を行い、必要事項の確認を徹底する。対面での打合せが難しい場合は、チームのチャットルームを活用するなど、共有方法も工夫する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼や職員間のミーティングを通じて、日々の支援内容や職員間の役割分担、個々のこどもに対する配慮事項等についての確認を行っている。	引き続き、職員間での十分な情報共有を行い、必要事項の確認を徹底する。対面での打合せが難しい場合は、チームのチャットルームを活用するなど、共有方法も工夫する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		一人ひとりのこどもに応じた日々の保育のねらい、生活、特記事項として怪我や体調面等を記録し、随時、支援内容を検証するとともに、必要に応じて改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、こどもの状態を適切に把握したうえで、必要に応じて支援計画の内容を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況を十分に把握した職員が、障害児支援事業所の相談支援専門員と情報共有している。	引き続き、各関係機関と連携して適切な支援を行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、当該児童が利用している保育所等関係機関との連携・情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて併行利用や移行に向けた支援を行い、保護者の同意を得たうえで、関係機関と、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学先の学校の職員との見学会や懇談等を通じて、個々のこどもの支援内容についての情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		地域の保育所やこども園、事業所等に対して、公開療育や見学会、研修会を行い、学園で行っている視覚支援や環境整備について伝えている。	今後は、地域のニーズを把握したうえで、実習や事例検討会、訪問による支援等、地域の中核的役割を担う機関としての取り組みを検討していく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		施設内研修や外部施設への実習を実施するとともに、他団体が主催する研修を受講する機会を設けている。	引き続き、研修内容等を工夫しながら、職員の資質向上のための取り組みを行う。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会や地域の特別支援学校等の評価委員会に参加している。	引き続き、こども部会等に参加し、地域の関係機関との連携に努める。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		クラスによっては、近隣保育所との交流を行っている。	実施していないクラスについては、園外のこどもと関わる機会の必要性や、実施方法などについて検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳の活用や定期的な個別懇談などにより、こどもの日々の状況や課題について共有し、保護者との共通理解に努めている。	引き続き、こどもの発達状況や課題について、保護者との共通理解が徹底できるよう努める。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者を対象とした研修や個別懇談を実施するほか、親子通園では日々の療育を通じて支援を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園説明会を実施し、支援内容や利用者負担額等の必要事項について説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		連絡帳の活用等により、こどもの日々の状況や課題について保護者と共有し、定期的な個別懇談により、保護者の意向を確認している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画の趣旨や支援内容について、保護者が十分理解できるように説明を行い、同意を得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、家族等から相談があれば、適宜面談等を実施し、必要な助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		こどもとの分離時間に、保護者が集まって休憩できるスペースを設けていたり、保護者同士のつながりが持てるようクラス会を開催したりしている。また、きょうだいが療育に参加する機会を設けているクラスもある。	保護者の意見を聞き、そのニーズに応じた保護者同士の連携や交流、きょうだい参加ができる機会を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった際には、必要に応じて面談等の機会も設定し、迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、行事予定表を発行するほか、必要に応じてお知らせ文等を配布するとともに、連絡帳や配信ツールを活用している。	引き続き、活動内容や連絡体制等についてこどもや保護者に理解を深めてもらえるよう、情報発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に対して、個人情報の取扱いに関する研修を実施し、日々の業務における適切な取扱いを徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援の観点による工夫や、連絡帳や配信ツールの活用等により、意思疎通や情報伝達が適切に行われるように配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	公開療育や見学会は実施しているが、感染症の予防のためボランティアを受け入れたり地域住民が参加することが出来る行事は実施していない。	今後は、状況を見ながら、また、地域のニーズも把握しながら、可能な取り組みを模索し、開かれた事業運営ができるよう検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応等に関するマニュアルを作成し、職員に周知徹底するとともに、「入園のしおり」等に必要事項を記載し、保護者にもお知らせしている。 また、近隣施設も活用しながら定期的に避難訓練等を実施している。近隣施設との間に直通の避難経路を設置し、避難が可能な状況としている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、近隣施設も活用しながら、定期的に避難訓練等を実施している。近隣施設との間に直通の避難経路を設置し、避難が可能な状況としている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師による入園前の確認はもちろんのこと、入園後も保護者からの聞き取りを行うことにより、こどもの健康面について日々確認、周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるこどもに対しては、保護者からの聞き取りと医師の指示に基づいて、適切な対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行い、十分な安全管理の中で支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡帳や配信ツールを活用し、取組内容を家族等へ周知している。	引き続き、こどもの安全確保に関しての取組内容について、連絡帳等で周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		該当する事例が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有を徹底し、再発防止に努めている。また、外部での事例についても共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員に対して、虐待防止のための研修を実施している。また、神戸市立児童発達支援センターの園長による虐待防止委員会を開催し、情報共有を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ずに行う場合は組織的な決定に基づくものとするとともに、保護者に事前に十分に説明をして了解を得たうえで、支援計画に記載している。	